

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	新公会計制度アドバイザリー会議
日 時	令和8年8月21日(金) 13時57分～15時41分
場 所	府庁本館4階 会計検査室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)：武田特別参与 谷口特別参与 (職 員 等)：会計管理者兼会計局長 会計総務課長、課長補佐 他 会計総務課職員
論 点	・ 令和7年度財務諸表について ・ その他
主 な 意 見	【資料1について】 ①行政コスト計算書のその他特別費用について、資料2では「市町村への資産移管等」と記載されているが、令和6年度中に減損損失を計上すべきだったものは含まれていないのか。 ②純資産変動分析表に記載された減価償却等の金額と、固定資産附属明細表の当期償却額（減損を含む）との差異について、利用者の理解に資するよう、両者の対象範囲や差額の主な要因を補足することを検討してはどうか。 【資料3について】 ③《貸借対照表の状況》 ・ 「総資産」は「資産」に表記を統一してはどうか。 ・ 1ページについて、資産の減少要因しか記載していないので、増加要因も記載してはどうか。 《行政コスト計算書の状況》 ・ 1ページについて、金融収支差額を記載してはどうか。 《キャッシュ・フロー計算書の状況》 ・ 1ページについて、「対前年度比」の記載がない箇所があるので、記載してはどうか。 ④7ページの特別収支差額について、資料2には要因を記載しているので整合させてはどうか。 【資料2について】 ⑤《貸借対照表》 ・ 建設仮勘定ではなく、より増減の大きな投資その他の資産を記載してはどうか。 《行政コスト計算書》 ・ 内訳の増減金額の合計が行政収入・行政費用のそれぞれの金額に近づくように記載する科目を見直してはどうか。

主 な 意 見	《キャッシュ・フロー計算書》 ・右側のコメントの「行政収入の増加等により好転」は、投資活動収支差額の方が大きいので修正を検討してはどうか。
結 論	【資料１について】 ①確認した結果、令和６年度中に減損損失を計上すべきだったものは含まれていなかった。 ②次年度の純資産変動分析表について、表記を検討する。 【資料３について】 ③《貸借対照表の状況》 ・「資産」に表記を統一する。 ・資産の増加要因を追記する。 《行政コスト計算書の状況》 ・７ページに記載しているので現状のままとする。 《キャッシュ・フロー計算書の状況》 ・当期末残高を記載している場合にのみ「前年度比」と記載しているので現状のままとする。 ※このほか、１ページに資料２と同程度の内容を記載するように整合させる。 ④特別収支差額について要因を追記し、資料２と整合させる。 【資料２について】 ⑤《貸借対照表》 ・投資その他の資産の大部分が基金であり、基金（流動＋固定）を記載していることから現状のままとする。 《行政コスト計算書》 ・退職手当引当金繰入額の項目を追加する。 《キャッシュ・フロー計算書》 ・「投資活動支出の減」を追記する。
説明等資料	・議事次第 ・【資料１】令和７年度財務諸表（各会計合算） ・【資料２】令和７年度大阪府新公会計制度財務諸表の概要 ・【資料３】令和７年度大阪府新公会計制度財務諸表について なお、これらの資料は、令和８年８月２１日現在のものであり、会議での指摘等による修正があります。 最終の財務諸表については、下記リンクに掲載します。 http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html
関 係 部 局 (室 課)	